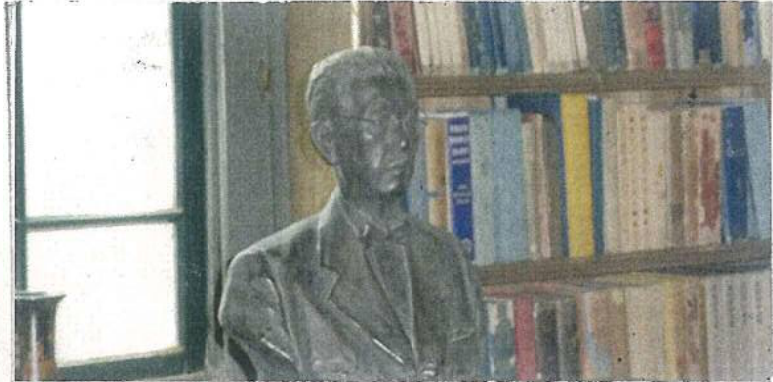


名前の由来



楚人冠の名は、「史記」の『項羽本記』にある逸話から来たもので、(項羽(楚人)は冠をかぶった猿に過ぎないという人がいるか)その通りだな)楚人冠は仲弓子の函に脚をつける時、この句を思い出し楚人冠と名乗ったそうです。

白馬城の由来

楚人冠は自分の屋敷々に白馬城と言う愛称をつけました。白馬の意味は「白馬は馬に非ず」という諺からとられたものです。



「城」と名乗ったのは、最初に我孫子城跡の土地を買おうとしたためですが、結局そこは買えずに城の名を今の土地につけることになりました。

杉村楚人冠

記念館の

見どころ

時代を先取りした新聞人



杉村楚人冠は明治5年(1872)和歌山で生まれ、記事を書くことはもちろん新聞事業に多大な足跡を残しました。

電話室はなに？

この電話室は奥行83.3cm、横は81.1cm、中からの奥行は63.3cmでとても小さな室です。写真は電話室のとひらです。このとひらの中にはなにか入っているのでしょうか...





電話機は80〜50年前
につかわれていました。

使い方は、まず、交か台と
いう所に電話して、伝えたい所の
電話番号を伝える。

当時電話機を持って
いる人は我孫子の中でも

数10人しか持っていないほど貴重な物でした。

なんで本だながかべとくっついてるの？

大正13年(1924)
に一家で初めての
家を建てました。



前の年に関東
大震災があり、
たぶんおのれが本だ
なや家のしじきと
なして死んでしまいました。

そのためサロンの本だなは、かべとくっついてるのです。(書斎
の本だなもかべとくっついてます。)

サロンは、たんす、ソファーなどがあります。

昔は本当に手賀沼が見えたの？



この廊下は南向きの明るい場所に建てていて、手賀沼が
見えた所です。手賀沼が見えるように、一面がガラスか、
はってあります。手賀沼は本当に見えたのでしょうか。

下の写真を見てください。二つの写真を見くらべて見たらわかる
ように、昔は廊下から手賀沼が見えました。今、手賀沼が見え
ない原因は、木や家が多くなったのと、手賀沼が小さくなったから
です。

昔の写真



今の写真

